

## 平成30年度 輸送に関する目標についての評価

- [1] 重大事故はもちろん軽微な事故についても発生ゼロを目指します。特に後退事故を惹起させません。  
→重大事故に該当する事案はなかったが、軽微な事故(軽度な接触等)のゼロには至らなかった。後退事故に関しても、1件接触事故を起こした。今後抑止としての発生後、情報を社内共有する仕組みを構築したい。
- [2] アルコール検知ゼロを継続します。  
→営業所出庫・帰庫時のアルコール検知ゼロは達成継続できたが、宿泊時のアルコールチェックを検知器で出来ていない事案が発生した為、引き続き教育指導を徹底していく。
- [3] 前期実行できなかったヒヤリハット案件の情報収集について、帰庫点呼時の追加項目とし、乗務員が容易に報告できるよう。「書き込み」から「聴取」に変更し多くの情報を共有していきます。  
→「聴取」の徹底が出来なかった。点呼者の基本動作を再徹底し、ドライブレコーダーの画像収集も含めて体制構築を図りたい。
- [4] 外部機関の研修を受講させ安全意識の向上に努めます  
今季予定の外部研修は「救命救急講習・雪道講習・特定運転士に対する安全教育研修」その他、外部主催のセミナーを予定しております。  
→「救命救急講習・雪道講習・特定運転士に対する安全教育研修」を予定通り受講できたが、今後受講後の乗務員・運行管理を含めた社内共有体制を構築したい
- [5] 前期実行できなかった乗務員標準化マニュアルを作成整備し、常時高度な顧客サービスを提供できるように努めます。  
→乗務員標準化マニュアルは作成できたが、社内(運行管理・乗務員)に徹底に至らなかった。マニュアルを基に、基本動作の標準化を図りたい。
- [6] 健康管理の取り組みを推進します。  
→健康診断を検診車から施設による受診に変更し二以上からの健康状況をチェックできるようにした。また全乗務員に「脳MRI検診」を受診させることが出来た。次期は「SAS検診」を受診させ、義務化された睡眠状況の確認も徹底していきたい。

## 輸送の安全に関する目標及びその達成状況(平成30年度)

	目 標	結 果
重大事故件数	0件	0件
有責事故発生件数	0件	11件
アルコール検知事案	0件	0件